

2024

渡邊辰五郎(自主自律)
AO 入試ガイド

東京家政大学

東京家政大学短期大学部

本学のアドミッションポリシー

大学のアドミッションポリシー

アドミッションポリシーとは、本学の建学の精神と生活信条に基づき、本学が積極的に受け入れるための方針です。この方針に基づき、次のような人を求めます。

1. 建学の精神である自主自律を目指す女性を求めます

- 専門的な知識・技術・技芸を身につけ、社会に貢献し活躍することを志す女性
- 広い教養と健全な常識を有し、自主的自律的な人生を望む女性
- 現代の諸課題に対し女性としての感性と知性を発揮し、将来希望の持てる世の中にしていくことを目指そうとする女性

2. 生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を大切にする女性を求めます

- 自己のみならず他者への愛情も持ち、それに報いるための勤勉さと、妥当で正当な判断のできる聡明さを身につけようと志す女性
- 自己の幸福と周囲の人達の幸福を重ね合わせることのできる女性
- グローバルスタンダードとしての生活技術の豊かさを収めながら、心の大切さを忘れない女性

短期大学部のアドミッションポリシー

アドミッションポリシーとは、本学の建学の精神と生活信条に基づき、本学が積極的に受け入れるための方針です。この方針に基づき、次のような人を求めます。

1. 建学の精神である自主自律を目指す女性を求めます

- 実践的な知識と技術を身につけ、社会に貢献し活躍することを志す女性
- 教養を深めると共に健全な常識を備え、自主的自律的な人生を望む女性
- 現代の諸課題に対し女性としての感性と知性を発揮し、より良い世の中にしていくことを目指そうとする女性

2. 生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を大切にする女性を求めます

- 自己のみならず他者への愛情も持ち、それに報いるための勤勉さと、妥当で正当な判断のできる聡明さを身につけようと志す女性
- 自己の幸福と周囲の人達の幸福を重ね合わせることのできる女性
- 生活技術の豊かさを収めながら、心の大切さを忘れない女性

1. 本学について

創設者の渡邊辰五郎は、「自主自律」を目指し、「女性の専門性を高める教育」に力を注ぎました。明治の当時、女性には花嫁修業的な習い事以外の学問は不要とされており、就学率は男性の半分にも満たない状況でありました。こうした風潮の中、辰五郎は「明治という新しい時代をつくるには、女性も手に職をつけ経済力をもつ必要がある」と考えたのです。

その真のねらいは、裁縫技術を身に付け、指導していくことはあくまで手段であり、その先にある「やりがい」を見つけ、子育てや社会貢献など幅広い方面で自分を高めていくことでした。

こうした自立した女性の育成を目的に技術教育とともに国語・英語・数学を含む新しい教育が行われたのです。

時代は変わりましたが、辰五郎が提唱した「自主自律」の精神は創立以来一貫して、東京家政大学の教育方針に引き継がれているのです。



(創設者 渡邊辰五郎)

2. 本入試の目的

渡邊辰五郎（自主自律）AO 入試とは、従来の学校推薦型選抜や筆記試験による一般選抜とは異なり、受験生が東京家政大学を十分に理解しているかを確認する総合型選抜です。つまり「東京家政大学の建学の精神や校風をどのくらい理解しているのか？」そして「志望する学科でどんなことを学び、将来学んだことをどう生かしていきたいか？」など受験生一人ひとりの考えや将来の夢をしっかりと理解するとともに、本学の考え方に賛同してくれる人に入学して欲しいのです。入学後は皆さんの夢や希望を実現するために、本学は精一杯支援することを約束します。

3. 受験資格

- (1) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月卒業見込みの女子
- (2) 本学の建学の精神「自主自律」の理念を理解・賛同し、リーダーシップが発揮できる者
- (3) 本学および志望学科・科・専攻を第一志望（専願）とする者
- (4) エントリー時、高等学校最終学年1学期までの学習成績の状況が下記の学科・科の基準を満たしている者※

※ 栄養学科・管理栄養学科・看護学科は **3.5 以上**。他の学科・科は **3.0 以上**。

(2 期制の学校については、高等学校2 年次までの学習成績とする)

4. 学科・科の求める人物および募集人員

(1) 児童学部

① 児童学科（募集人員：児童学専攻 20 名、育児支援専攻 30 名）

《人材養成の目的》

児童学科は、「子ども一人ひとりを尊重し、その健全な心身の形成ができる人材養成を目的とする。そのための学術的・実践的探究を通して、幼稚園教諭、保育士などの免許・資格の取得を軸に、高度な専門性と豊かな心を持ち、教育と保育に貢献する人材を育成する」ことを人材養成及び教育研究上の目的としています。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・児童学（保育・心理・福祉・文化・保健等）を学ぶために必要な高校卒業程度の基礎学力を有している。
- ・保育実践を行うために必要な技能（造形・音楽・体育等）を学ぶために必要な高校卒業程度の基礎的な学力や技能を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・子どもをめぐる事柄について、多角的・多面的に考える基礎的な思考力を有している。
- ・子どもをめぐる事柄について、論理や根拠に基づいて決めることのできる基礎的な判断力を有している。
- ・子どもをめぐる事柄について、考えたり、判断したりしたことを、文章などで適切に示すことのできる基礎的な表現力を有している。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・子どもを好きで、愛することができる。
- ・児童学の学びを基礎として、保育の専門家となる意欲がある。
- ・子どもを取り巻く社会について関心を持ち、自ら学ぶ意欲がある。
- ・自らの考えをしっかりと持とうとする意欲があり、なおかつ他者の考え方を受け容れる気持ちがある。
- ・児童学の学びをもとに、社会に貢献するために、他者と協働して考えたいという意欲がある。

② 初等教育学科（募集人員：20名）

《人材養成の目的》

全教科の学習指導を行うことができ、実践的指導力があり、教育の現代的課題に対応できる小学校教員を育成することが本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・高校までに学習する教科等において、基本的な概念を理解し、知識や技能を身につけている。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・課題解決のための意欲や判断力を持ち、知識や技能を活用して、課題解決に向けて探究し、他者との関わりのなかで、自分の意見や考えを表現する力を有している。
- ・公共の意識をもち、事実を基に多面的に考え、公正に判断する力を身につけている。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・教育についての信念と児童への教育愛を持ち、様々な児童、保護者に接し、地域の人と連携して教育を行うために、人権尊重の精神をもち、多様性を認めて、コミュニケーションを図ることができる。

(2) 栄養学部

① 栄養学科（募集人員：6名）

《人材養成の目的》

生活者及び科学的な視点から、「食と健康」に関する多様な課題を理解・追求でき、実践的な分析と解明ができる人材を育成します。食品、調理、栄養、社会医学、臨床栄養学の分野で知識、技術を教育し、研究を指導し、これをふまえて医療・福祉、産業、行政、教育の領域における専門的な知識と実践的な技術に優れた専門家として社会に貢献できる人材を養成することが本学科の目的です。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・栄養士免許・教員免許の他、各種資格取得に向けて学ぶために、特に生物・化学について十分な基礎知識を有している。
- ・文章を読み解く力と自らの言葉で他者にわかりやすく簡潔に説明できる文章力を有している。
- ・家庭、地域及び食産業界において役立てられるよう、日々の食事作りに積極的に取り組み、その基礎的な調理技術を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・「食と健康」に対して積極的に関心を持てる。
- ・「食と健康」に関する様々な課題を見つけられる。
- ・自分の考えを表現するために、様々な工夫ができる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・「食」と人の健康、病気及び生命との関わりについて、自らの意見を述べることができる。
- ・栄養士、管理栄養士、中学校・高等学校教諭・栄養教諭として社会に貢献するために、主体的に関連分野の知識・技術の習得に努めることができる。
- ・様々な問題に対し多面的に解決方法を考え、人の様々な考え方や知識・技能を取り入れようと努めることができる。

② 管理栄養学科（募集人員：4名）

《人材養成の目的》

生活者及び科学的な視点から、「食と健康」に関する多様な課題を理解・追求でき、実践的な分析と解明ができる人材を育成します。食品、調理、栄養、社会医学、臨床栄養学の分野で知識、技術を教育し、研究を指導し、これを踏まえて医療・福祉、産業、行政、教育の領域における専門的な知識と実践的な技術に優れた専門家として社会に貢献できる人材を養成することが本学科の目的です。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・健康の保持増進、公衆衛生や医療に関して学ぶために、特に生物・化学について十分な基礎知識を有している。
- ・文章を読み解く力と自らの言葉で他者にわかりやすく簡潔に説明できる文章力を有している。
- ・管理栄養士としての技能として求められる、数値やデータを整理するための情報処理の基礎的知識及び技術を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・「食と健康」に対して積極的に関心を持てる。
- ・「食と健康」に関する様々な課題を見つけられる。
- ・自分の考えを表現するために、様々な工夫ができる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・「食」と人の健康、病気及び生命との関わりについて、自らの意見を述べることができる。
- ・栄養士、管理栄養士、中学校・高等学校教諭・栄養教諭として社会に貢献するために、主体的に関連分野の知識・技術の習得に努めることができる。
- ・様々な問題に対し多面的に解決方法を考え、人の様々な考え方や知識・技能を取り入れようと努めることができる。

(3) 家政学部

① 服飾美術学科（募集人員：16名）

《人材養成の目的》

服飾に関する専門的知識、理論、技術を修得し、創造性と感性を身につけ、それらの実践と自立の意志を確立し、アパレル業界、教育界、および社会に貢献できる人材を養成することが本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・聴く、話す、書く、読むの基礎となる「国語」の知識を身につけている。
- ・科学的な視点を養うために「数学」、「化学基礎」、「生物基礎」といった理系科目、服飾に関する視点を養うために「家庭基礎」、「家庭総合」、「生活デザイン」、「美術」、「工芸」といった家庭科目、芸術科目、グローバルな視点を養うために「外国語」といった科目にも関心と意欲がある。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・状況をみて問題を発見し、積極的に解決方法を見出す意欲があり、それを具体的に提案する能力を有している。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・服飾に関する知識を積極的に学ぼうとする自主的学習能力や他者の意見を受け入れながら自己を客観的に見つめる姿勢を有し、愛情・勤勉・聡明な態度で自らを高めることができる。

② 環境共生学科（募集人員：11名）★2024年4月、環境教育学科を環境共生学科へ名称変更予定

《人材養成の目的》

生活環境から地域環境や地球環境まで広範な諸問題に関する解決法を身につけ、環境を意識して社会に貢献できる人材を養成することが本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・全ての学びの礎となる「国語」の基礎と、自然科学を学ぶための「理科」の基礎が身についている。
- ・データを扱うための「数学」等の科目にも関心と意欲がある。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・環境に関する諸問題に関心を持ち、課題を見つけ状況に応じた判断ができる力を有している。
- ・自らの考えを他者に正しく伝えることができる力を有している。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・身につけた知識・技能を社会に役立て、環境の分野で活躍するという主体性を持ち、他者の意見にも耳を傾け、自らを高めることができる。

(4) 人文学部

① 英語コミュニケーション学科（募集人員：6名）

《人材養成の目的》

自主自律の精神で、社会において活躍できる女性となるために、十分な英語コミュニケーション能力及び関連する教養を身につけ、学生一人ひとりの自分らしい進路に応じた専門知識を学び、実践的に活かせるようになることが本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・英語で表現された情報・文化などを大学でグローバルな教養として学ぶことに対する自らの意欲と、そのために高校で学習した知識と技能を具体的に示すことができる。
- ・英語の情報や意見を他者へ発信することについての意欲や高校で学習した関連技能を示すことができる。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・現代社会で生じている諸問題に対し日常的に関心を持ち、それらの内容やそれらに対する自らの意見を自らの言葉で論理立てて明確に表現できる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様な価値観を持つ人間関係の中で自ら主体性を持ち、他者と協働で活動を行い成し遂げる意欲とその経験がある。

② 心理カウンセリング学科（募集人員：7名）

《人材養成の目的》

社会のあらゆる領域において、心理学、カウンセリングの知識と対人スキルを備えた実践力のある人材を育成することが本学科の人材養成及び教育研究上の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・心理学、カウンセリング、養護及び学校保健等に関する文献を読み、論証的文章を書くために、読む、書く、表現することの基盤となる教科「国語」の基礎が身についている。
- ・データ収集・統計的分析の基盤となる教科「数学」の基礎が身についている。
- ・学術的な文献の内容の理解の基盤となる教科「英語」の基礎が身についている。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・自ら思考し、自分自身の意思で決定・行動ができる。
- ・物事を客観的・多面的に考察しようとする意欲がある。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・物事に対して積極的に関与し、粘り強く継続的に取り組むことができる。
- ・人間の尊厳を尊重し、自己・他者の双方を大切にできる。
- ・他者と積極的に関わり、多様な意見に肯定的関心を示すことができる。

③ 教育福祉学科（募集人員：10名）

《人材養成の目的》

教育福祉学科は、「複雑化した社会における人間関係の諸問題に対応する総合的な力を育成し、ライフコースを支援できる専門知識や技術を有する人材を育成する」ことを本学科の目的としています。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・普段から読書に親しむなど「国語」の力が身につけており、基本的な計算やデータを読み解く基礎となる「数学」がきちんと身につけている。
- ・歴史や文化、海外を含めた社会情勢に関心を持ち、自分の生活と結びつけて「地理・歴史・公民」や「外国語」を学んでいる。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・日々の暮らしや学習の中で生まれる疑問や課題を避けるのではなく、楽しんで向き合うことができる。
- ・そうした疑問や課題について持っている知識と関連づけて考え、自分の意見としてまとめ、人に伝える努力ができる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・自分の関心や興味に基づいてボランティア活動等の社会活動に積極的に参加し、目標に向かって努力していこうとする意欲がある。
- ・自分とは異なる考えや立場、価値観を持つ人とも尊敬しあいながら、ともに学ぶことができる。

(5) 健康科学部

① 看護学科（募集人員：6名）

《人材養成の目的》

いのちの誕生から老いまで、あらゆる年代における人々の「その人らしく生活する」を支える健康保持・増進と生活の質を維持する看護の実践力を持つ看護職者を育てることが、本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・看護学を学ぶために必要な国語・数学・英語・理科（生物・化学）の基礎学力を有している。
- ・対人関係を築くために、積極的かつ柔軟にコミュニケーションができる。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・自律的な思考に基づき、意思決定し、行動することができる。
- ・目的や課題を明らかにし、課題の解決に向けて取り組むことができる。
- ・他者の価値観を尊重し、意見の違いや立場の違いを理解できる。
- ・相手の意見を丁寧に聴き、自分の意見をわかりやすく表現できる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・看護に強い興味・関心があり、主体的に看護を学ぶ意欲がある。
- ・健康的な生活習慣を身に付け、ストレスへの適切な対応行動がとれる。
- ・前に踏み出す勇気をもって物事に進んで取り組むことができる。
- ・何事も粘り強く継続的に取り組むことができる。
- ・多様な人々と積極的に関わり、協働することができる。

② リハビリテーション学科（募集人員：作業療法学専攻8名、理学療法学専攻8名）

《人材養成の目的》

リハビリテーション学科の目的は、生命と人権を尊重し、社会のニーズに対応できる質の高いリハビリテーションの実践力を有する人材、人々の健康と生活の質を科学的根拠に基づいて支援できる人材、および他者と協働しながら物事に主体的に取り組める人材を養成することです。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・あらゆる年代の人たちと信頼関係を築くために必要不可欠なコミュニケーション能力の基礎となる「国語」と「英語」、多くの情報から正確に問題点を抽出するための論理的思考を育む「数学」の基礎を身につけている。さらに生命活動の本質を追求する上での基礎となる「生物」や「物理」、「化学」等の科目にも関心がある。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・物事の本質を捉え、筋道を立てて論理的に考え、根拠に基づいて判断し、課題を解決できる。さらに他者の意見を尊重しつつ自分の考えをわかりやすく伝えることができる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・保健・医療・福祉に興味や関心を持ち、人に関わる現象を探究するために自ら行動を起こすことができる。さらに多様な考えやチームの中での個人の役割を理解し、協働して課題解決に取り組むことができる。

(6) 子ども支援学部

① 子ども支援学科（募集人員：16名）

《人材養成の目的》

多様な支援を必要とする子どもを含む、全ての子ども一人ひとりを深く理解し、持てる可能性を引き出すことができる専門的な幼児教育・保育を実践する保育者を養成することが本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・多様化する現代社会において、これからの時代に応じた幼児教育・保育について関心を持ち、その知識・技術を修得するために積極性を持って学ぼうとする力を持っている。
- ・科目「国語総合」において、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことといった総合的な言語能力が身についている。
- ・表現の内容が含まれる科目「体育」や教科「芸術」の音楽、美術、工芸、書道に関するいずれかの科目、科目「保健」における食育の観点を含んだ健康に関する知識・技能についても関心と意欲がある。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・日常生活において問題意識を持ち自ら課題を見つけ改善する力、その場の状況に応じて最善の行動ができる判断力を有している。
- ・自らの考えを他者に対して正確に伝達できるコミュニケーション力、自分の思いを様々な手段で表現できる力を持っている。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・障がいや慢性疾患のある子ども、病児病後児などを含む、全ての子どもに関する知識や技術を自ら学ぼうとする主体性や向上心を持ち、謙虚な態度で自らを高めることができる。

(7) 短期大学部

① 保育科（募集人員：30名）

《人材養成の目的》

保育科は、「子どもの保育について基礎から専門までを理論的に学ぶことにより、子どもの豊かな人格を形成できる学生を育てることを目的とする。実践的な技能と多様な保育技術を身につけ、幼稚園教諭や保育士などの保育者として、社会に貢献できる人材を育成する」ことを人材養成の目的及び教育研究上の目的としています。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・保育（主に幼稚園教諭免許や保育士資格の関連科目等）を学ぶために必要な高校卒業程度の基礎学力を有している。
- ・保育実践を行うために必要な技能（造形・音楽・体育等）を学ぶために必要な高校卒業程度の基礎的な学力や技能を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・子どもをめぐる事柄について、多角的・多面的に考える基礎的な思考力を有している。
- ・子どもをめぐる事柄について、論理や根拠に基づいて決めることのできる基礎的な判断力を有している。
- ・子どもをめぐる事柄について、考えたり、判断したりしたことを、文章などで適切に示すことのできる基礎的な表現力を有している。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・子どもを好きで、愛することができる。
- ・保育に関する学びを基礎として、保育の専門家となる意欲がある。
- ・子どもを取り巻く社会について関心を持ち、自ら学ぶ意欲がある。
- ・自らの考えをしっかりと持とうとする意欲があり、なおかつ他者の考え方を受け容れる気持ちがある。
- ・保育の実践家として、社会に貢献するために、他者と協働して考えたいという意欲がある。
- ・二年という短い期間の中で、他者とともに濃密な学びをしたいと思っている。

② 栄養科（募集人員：12名）

《人材養成の目的》

多様化する食環境で適切な指導ができ、「食と健康」に関する課題を理解・追求できるスペシャリストとしての人材を育成します。食品、調理、栄養学の分野で知識、技術を指導し、これをふまえて専門的な知識と実践的な技術に優れた専門家として、社会に貢献できる人材を養成することが本学科の目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

《学力の三要素》

(1) 知識・技能

- ・栄養士免許や各種資格取得に向けて学ぶために、特に生物・化学について十分な基礎知識を有している。
- ・文章を読み解く力と自らの言葉で他者にわかりやすく簡潔に説明できる文章力を有している。
- ・食に関する情報等に興味関心を持ち、日々の食事作りに積極的に取り組み、その基礎的な調理技術等を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・「食と健康」に対して積極的に関心を持ち、課題を見つけ、自分の考えを表現する様々な工夫ができる。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・「食」と人の健康について、自らの意見を述べることができる。
- ・栄養士、中学校教諭・栄養教諭として社会に貢献するために、主体的に関連分野の知識・技術の習得に努めることができる。
- ・様々な問題に対し多面的に解決方法を考え、人の様々な考え方や知識・技能を取り入れようと努めることができる。

5. 選考のプロセス

本入試の選考は、以下の通り実施されます。

(1) 学科説明・模擬授業受講（対面型オープンキャンパスまたは Web オープンキャンパス）

対面型オープンキャンパスに参加（6～8月実施）、または Web オープンキャンパスを視聴してください。

※エントリーする学科の「学科説明」及び「模擬授業」両方の参加もしくは視聴が必要です。

オープンキャンパスについては、「7. オープンキャンパス等について」をご確認ください。

(2) エントリー

エントリーシートに必要事項を記入し、調査書（高校3年1学期までの成績が記入されているもの。2期制等で調査書の提出ができない場合は、2年次までの成績表のコピー）とともに、下記期間内に特定記録郵便にて郵送してください（封筒は各自で用意。封筒の表に「エントリーシート在中」と記入）。

【エントリー期間】 大学：2023年9月1日（金）～9月9日（土）郵送必着

短大：2023年9月1日（金）～9月22日（金）郵送必着

郵送先：〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 東京家政大学 アドミッションセンター

エントリー受付後、「エントリー確認表」を返送します。

(3) 大学1次審査（短大保育科・栄養科は、こちらの審査はありません。(5) 短大1次審査を確認してください。）

実施日時： 2023年9月24日（日）

実施校舎： 本学 板橋キャンパス

実施学科： 【児童学部】 児童学科、初等教育学科
【栄養学部】 栄養学科、管理栄養学科
【家政学部】 服飾美術学科、環境共生学科★
【人文学部】 英語コミュニケーション学科、心理カウンセリング学科、教育福祉学科
【健康科学部】 看護学科、リハビリテーション学科
【子ども支援学部】 子ども支援学科

★2024 年 4 月、環境教育学科を環境共生学科へ名称変更予定

審査内容： ①「文章表現」
②プレースメントテスト （管理栄養学科、心理カウンセリング学科のみ選抜の評価で使用）

① 「文章表現」

建学の精神「自主自律」及び生活信条「愛情・勤勉・聡明」に関する文章が提示されるので、
自分の思いや考えを文章で表現する（600～800 字）

※「文章表現」は、東京家政大学の建学の精神・生活信条を理解し、その理念に共感しているかどうかを確認することを目的に実施します（エントリー者に本学をより理解してもらう為の追加資料を送ることがあります）。

② プレースメントテスト

当日、「文章表現」後にプレースメントテストを実施します。国数英の基礎学力を問う内容（60 分）で、
入学前準備教育のコース分けに使用します （管理栄養学科、心理カウンセリング学科のみ選抜の評価で使用）。

(4) 大学 1 次審査結果通知 2023 年 9 月 29 日（金）

1 次審査の結果、本学の建学の精神と生活信条を理解し、大学進学の目的および自分の将来の目標が明確であると思われる方に、1 次審査通過のお知らせとともに 2 次審査の日程・場所等の詳細をお知らせいたします。（郵送&Web 発表）

(5) 大学 2 次審査および短大 1 次審査

日程は全学科・科同一ですが、会場・審査内容は学科・科によって異なります。

① 日程および会場

●板橋キャンパス

・2023 年 10 月 8 日（日）

実施学科・科： 【児童学部】 児童学科、初等教育学科
【栄養学部】 栄養学科、管理栄養学科
【家政学部】 服飾美術学科、環境共生学科★
【人文学部】 英語コミュニケーション学科、心理カウンセリング学科、教育福祉学科
【短期大学部】 保育科・栄養科

★2024 年 4 月、環境教育学科を環境共生学科へ名称変更予定

●狭山キャンパス

・2023 年 10 月 8 日（日）

実施学科： 【健康科学部】 看護学科、リハビリテーション学科
【子ども支援学部】 子ども支援学科

② 審査内容

各学科・科の審査（課題）の内容は次の通りです。

学科・科名	審査内容（課題）
児童学科	集団討論： ・事前に指定した題材（絵本など）について、テーマを自ら設定し討論する集団討論を行います（1 グループ 4 名程度・40 分程度）。
初等教育学科	集団面接と集団討論等（30 分程度）：1 グループ 5 名程度 ・受験生の小学校教員をめざすという志望動機や小学生との関わり経験などに関する質問や受験生同士の共同活動・作業や集団討論を行います。 ※内容は試験当日に説明します。
栄養学科	集団面接： ・学科が求める人物像に合致しているかどうかを、1 グループ 4～5 名で 30 分程度の面接を実施します。
管理栄養学科	集団面接： ・学科が求める人物像に合致しているかどうかを、1 グループ 4～5 名で 30 分程度の面接を実施します。
服飾美術学科	プレゼンテーション：プレゼンテーション 10 分、質疑応答 5 分 学科が求める人物像に合致しているかを、プレゼンテーションを通して拝見し、質疑応答は面接要素を含みます。 ・家庭基礎の「被服管理と着装」、家庭総合の「衣生活の科学と文化」、生活デザイン系の「衣生活の設計と創造」の中から、興味のあることについてまとめ、プレゼンテーションしてください。また、全国高等学校家庭クラブ連盟主催の「ホームプロジェクトコンクール」、「クリエイティブコンテスト」等で発表した研究・作品やその他における発表でも可能です。 ※大学の設備を使用しない（自己解決可能な）範囲で実施可能なプレゼンテーションとします。
環境共生学科 ★2024 年 4 月、 環境教育学科を環境共生学科へ名称変更予定	個人面接（20 分程度）： ・自己アピール（5 分程度）をして頂きます。また、面接（15 分程度）では以下のような質問をします。 ① 自分がこれまで学んだ「環境学習」について ② 環境共生学科で学びたいこと ③ 自分がなりたい社会人像 ④ 企業や社会が行う環境問題への取り組みについて
英語コミュニケーション学科	個人面接（10 分程度）： ・学科への志望理由、大学での学修計画、キャリア設計についてやオープンキャンパスの模擬授業を一つ以上受講し、これに関する意見や感想について述べてもらいます。
心理カウンセリング学科	グループディスカッション：1 グループ 4～5 名 ・当日指定されたテーマについて議論およびワークを行います（25 分）。
教育福祉学科	① グループディスカッション（30 分程度）： ・当日提示の課題について集団討議を行います。 ② 小論文（45 分で 1200 字程度）： ・当日提示される課題について、グループディスカッションの内容等をふまえて、小論文を作成していただきます。論旨および形式も全て審査の対象とします。

看護学科	① 集団作業（15 分程度）： ・当日提示の課題をグループで行い、その後、発表・意見交換を行います。 ② 個人面接（15 分程度）： ※事前に準備や練習などは必要ない内容です。
リハビリテーション学科	① グループワーク（20 分程度）： ・1 グループ 4～5 名程度で試験当日に提示された課題を実施し、その内容についてのディスカッションを行います。 ② 個人面接（15 分程度）： ・学科が求める人物像に合致しているかを把握するため、一般的な面接を行います。 ※事前に準備や練習などは必要ない内容です。
子ども支援学科	① 実技（絵本の読み聞かせ）： ・大学が用意したジャンルの異なる 5 冊の絵本の中から 1 冊を選び、読み聞かせを行います。 ≪絵本の選定及び読み聞かせ準備、絵本の選定理由の説明≫・・・5 分 ≪絵本の読み聞かせ≫・・・5 分 ② 個人面接： ・一般的な面接を実施します（7～8 分程度）。
保育科	集団面接： ・科が求める人物像に合致しているかどうかを、1 グループ 4～5 名で 30 分程度の面接を実施します。
栄養科	集団面接： ・科が求める人物像に合致しているかどうかを、1 グループ 4～5 名で 30 分程度の面接を実施します。

(6) 大学 2 次審査および短大 1 次審査結果

審査の結果は下記の通り、お知らせします。

≪審査結果発表日≫ 2023 年 10 月 12 日（木）

※郵送による通知&Web 発表

※10 月 14 日（土）までに到着しない場合は、本学アドミッションセンターへご連絡ください。

(7) 出願（Web 出願）

審査の結果、出願許可された方には学生募集要項を郵送します。学生募集要項及び下記の通り出願手続きを行ってください。

① 検定料納入

定められた方法で検定料（34,000 円）を納入してください。

「2024 入試情報冊子 入試がわかる本」を参照してください。

② 出願手続き

「2024 入試情報冊子 入試がわかる本」の Web 出願に記載された手順に沿って出願してください。

入学志願票、調査書を下記、出願期間内に郵送してください。※調査書をエントリー時に提出した場合は、入学志願票のみ郵送

【出願期間】

2023 年 10 月 13 日（金）～10 月 18 日（水）郵送必着

(8) 合否発表（Web 発表）

Web 出願サイトのマイページ、または合否照会サイトで確認してください。

発表日：2023 年 11 月 1 日（水）

(9) 入学手続

Web 出願サイトのマイページから合格通知書と入学手続書類を印刷し、入学手続を行ってください。

入学手続締め切り：2023 年 11 月 8 日（水）

6. 入学前準備教育プログラム

入学手続完了者に対し、入学前準備教育プログラムを実施します。大学教育を十分に吸収するには、各々の学科の特性に応じた力を確実に身につけて入学していただくことが不可欠です。

プログラムでは e-ラーニング教材をもとに自宅で学習し、課題を提出して理解度を深めるといった学習方法になります。

7. オープンキャンパス等について

(1) オープンキャンパスの目的

オープンキャンパスは、大学の校風や実際の雰囲気を感じることができる上に、大学の授業も体験できる絶好の場です。

受験生の皆さんには、オープンキャンパスに参加していただき、実際の授業や学生、教職員を通して、本学をしっかりと理解して欲しいと考えます。渡邊辰五郎（自主自律）AO 入試にエントリーを希望する方は、対面型オープンキャンパスに参加、または Web オープンキャンパスを視聴してください。

※エントリーする学科の「学科説明」及び「模擬授業」両方の参加もしくは視聴が必要です。

(2) オープンキャンパスの日程

渡邊辰五郎（自主自律）AO 入試にエントリーするための模擬授業を実施するオープンキャンパス日程は、以下の通りです。

【板橋キャンパス】 児童学部・栄養学部・家政学部・人文学部・短期大学部

① 2023 年 6 月 11 日（日） ② 2023 年 7 月 9 日（日） ③ 2023 年 8 月 6 日（日）

【狭山キャンパス】 健康科学部・子ども支援学部

① 2023 年 6 月 4 日（日） ② 2023 年 7 月 23 日（日） ③ 2023 年 8 月 20 日（日）

(3) 渡邊辰五郎（自主自律）AO 入試説明会

エントリーの方法や入試のポイントや対策について詳しく解説します。

本説明会への参加はエントリー必須条件ではありません。

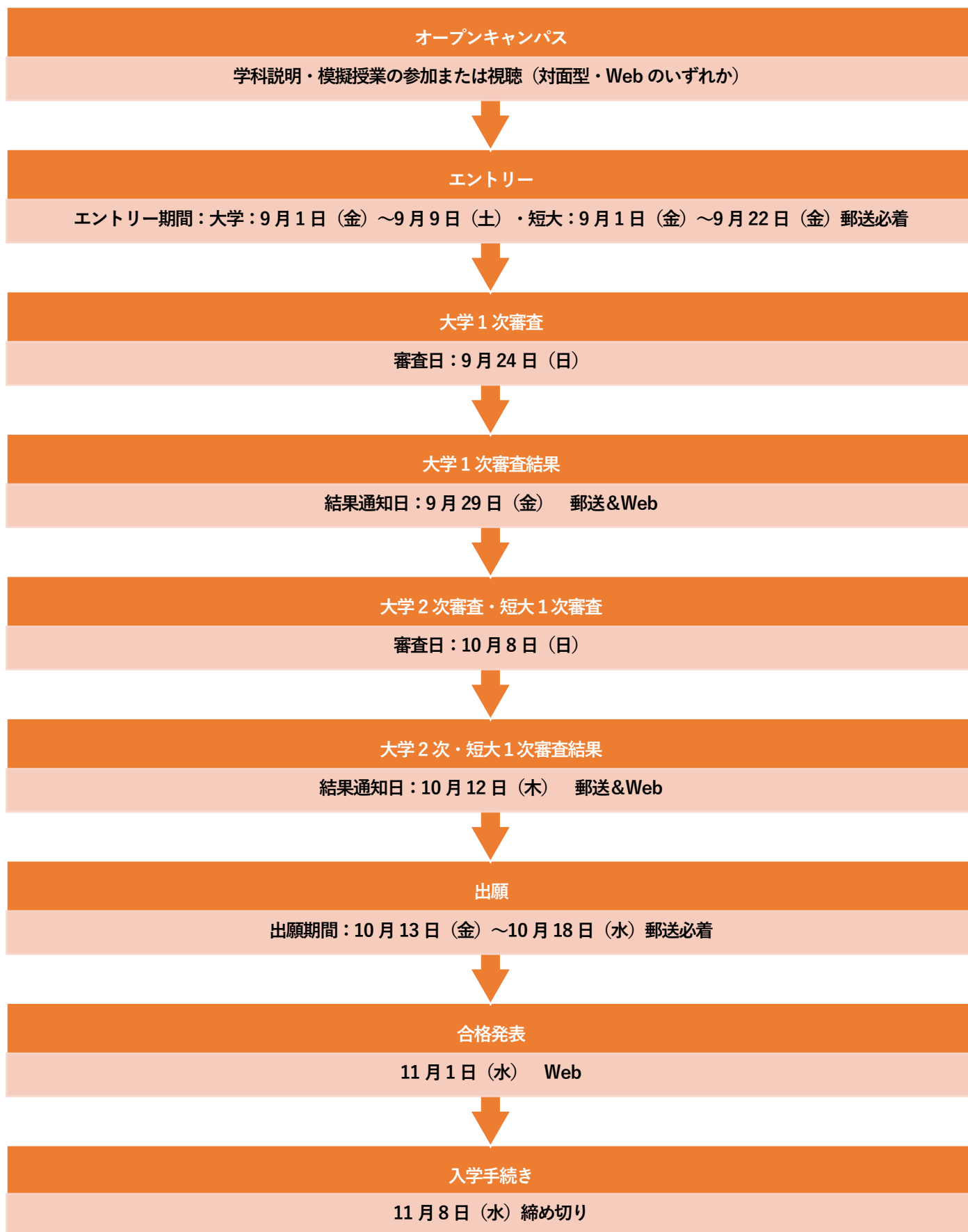
【板橋キャンパス】 2023 年 8 月 19 日（土）

8. エントリー者への優遇措置について

渡邊辰五郎（自主自律）AO 入試で不合格（1 次審査・2 次審査含む）になった場合、グローアップ入試（学校推薦型選抜）の検定料が割引（34,000 円が 20,000 円）になります。

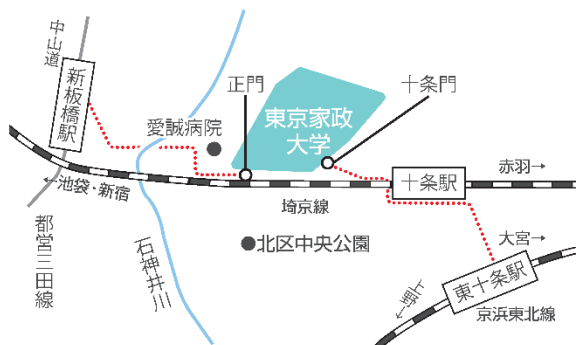
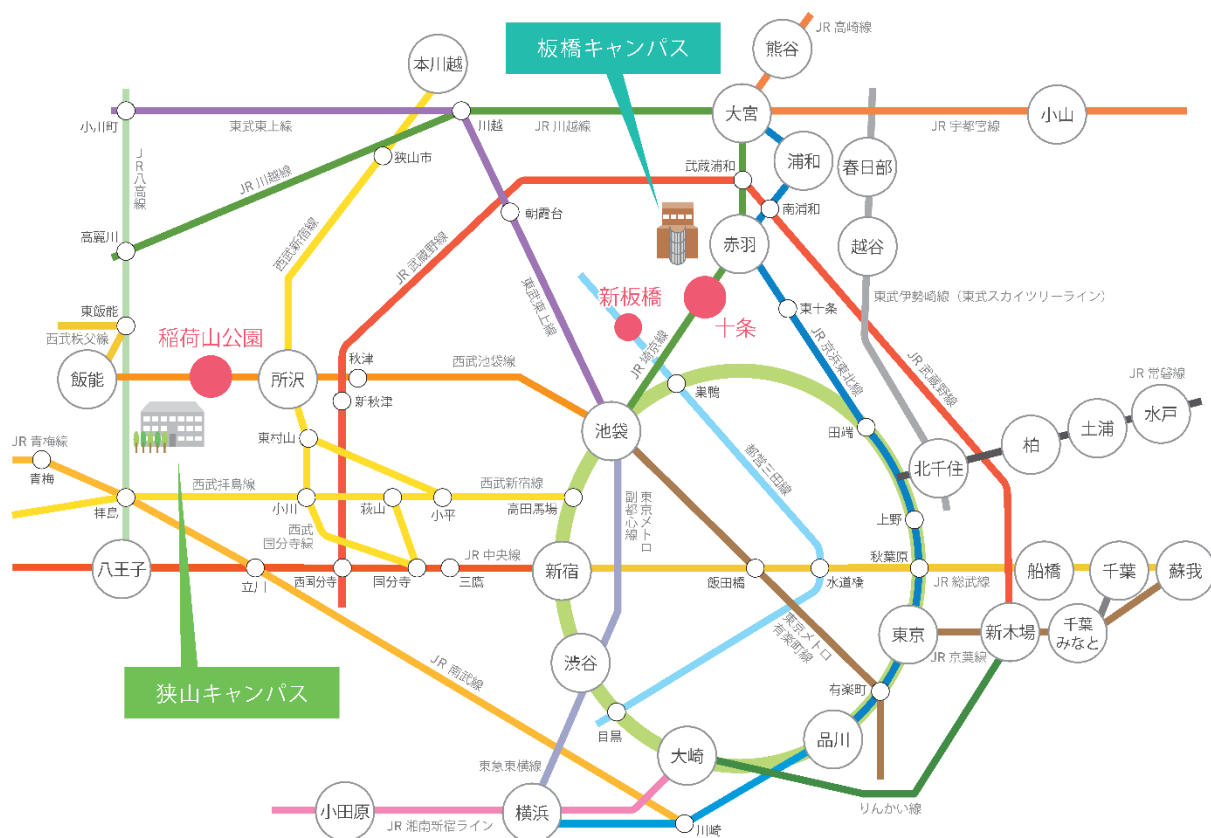
※出願の際に「エントリー確認表」が必要ですので、紛失しない様に注意してください。

9. 選考フロー



渡邊辰五郎（自主自律）AO入試エントリーおよび出願書類送付先
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
東京家政大学 アドミッションセンター
TEL 03-3961-5228

東京家政大学までの交通アクセス



所在地: 東京都板橋区加賀 1-18-1

キャンパスへのアクセス

- ▶ JR埼京線「十条駅」から徒歩 **5** 分
- ▶ 地下鉄都営三田線「新板橋駅」から徒歩 **12** 分
- ▶ JR京浜東北線「東十条駅」から徒歩 **13** 分



所在地: 埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1

キャンパスへのアクセス

- ▶ 西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩 **3** 分